

2021年度事業報告書

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構

I 事業期間

2021年4月1日～2021年3月31日

II 事業の成果と課題

(1) 認定 NPO 法人・条例指定法人資格の取得

2020年度に取り組みました「住まいとくらし緊急サポートプロジェクト OSAKA」及び「コロナ支援 - 大阪の未来を支える世代に居住支援を」の2回のクラウドファンディングを経て、多数の方からご寄付をいただくことができました。その結果、寄付者数が規定数を越えなければ申請できなかった認定 NPO、条例指定 NPO の申請を行うことができました。2022年4月11日に認定 NPO 法人資格、3月29日に条例指定 NPO 法人資格を取得することができました。

(2) 大阪府民の森における就労場所開拓

特別清掃事業の平均年齢（現在69歳）よりも若い世代がステップアップをめざしうる支援として、これまでワーカーズコープと連携し「いきいき清掃講習」を実施、病院清掃等への就職を支援してきました。

さらなる就労訓練・就労機会づくりの場の拡充をめざしてこの間大阪府民の森のマーケットサウンディングや現地説明会に参加してきました。2021年度が北河内地区・中河内地区の指定管理者選定年度にあたり、種々の協議を進めていたところ、住友林業緑化株式会社のもとに株式会社ナイス及び当機構が協力して園地の管理に臨むことが決まりました。幸い住友林業緑化株式会社が指定管理者に選定され、当機構は中河内地区を中心に刈払い・土木作業等に2022年4月より従事できることになりました。

国のホームレス就業支援事業・府の不安定労働者就労支援事業の常備就職に向けた支援との組み合わせにより、就労支援の充実をめざしていくことになりました。

(3) 新型コロナウイルス感染予防対策の推進と課題

① あいりんシェルターでの感染予防

2020年度より引き続き、宿泊棟及び昼の居場所等への出入りを、ホームレス状態で宿泊を希望する方のみ限定した運用を行っています。日中の居場所等での三密を避けるため、宿泊棟への入場開始時間を14時30分としています。シェルター利用者の中から臨時のスタッフを採用し、1時間おきにトイレ・手すり・ドア・床等の消毒作業を実施しています。

また、高齢者の感染予防のため、あいりんシェルターの拡張として簡易宿所の借上げを行いました。

2020年度コロナの感染拡大に対応して予定を前倒して導入したあいりんシェルターカードシステムが、感染状況の把握のために力を発揮しています。

② 特別清掃での感染予防

2020年度を引継ぎ、地域外作業へ移動する車に乗り込む人数を減らすため、西成労働福祉センター駐車場作業、特掃シェルター清掃への編入を行っています。特掃シェルター清掃は釜ヶ崎の高齢労働者には相当定着してきた感があり、コロナ以後の継続についての協議も必要となってきました。

③ ワクチン接種支援

大阪市福祉局と協議を重ね、あいりんシェルター利用者等住居不安定な方への接種券交付のスキームを確立し、大阪社会医療センターにご協力をいただき、シェルター利用の高齢者を中心にワクチン接種を進めました。

また7月以後路上生活者へのワクチン接種支援を開始することができました。

飛田新地協同組合にご協力をいただき永信防災会館での職域接種でワクチン接種を推進することができました。また大阪府済生会のご協力による接種も実施することができました。

その他、スマホやパソコンを使った予約に不慣れな特掃登録者や地域で生活する方のため、手続きの支援を鋭意進め、ワクチン接種率の向上に努めました。

④ コロナ第六波への対応

2022年年明け以後の第6波においては、大阪府下全域で救急搬送ができなくなる等の事態が生まれました。釜ヶ崎では、人口の密集や住まいの不安定の問題からあいりんシェルターのみならず簡易宿所や簡易宿所改装型マンションで、甚大な影響が生まれました。そうした中行政と取り決めた発熱者対応スキームも次々と更新が必要となり、臨機応変で対応していくこととなりました。2022年以後あいりんシェルターでは8人が陽性となり、市福祉局・保健所と連携して、療養施設での療養へと支援を行いました。支援機構として2室を確保、西成区より1室の提供を受け、療養施設決定までの待機場所としました。

(4) コロナ禍における生活困窮者・住居不安定者の支援の推進

コロナの影響を受けて仕事と住まいが不安定となっている方への支援を行いました。

① 「住まいとくらし緊急サポートプロジェクトOSAKA」

2020年度に引き続き大阪市内のホームレス支援等に携わる23団体と協働し、相談窓口を開催しました。

② 総合支援付き居住支援

「住まいとくらし緊急サポートプロジェクトOSAKA」と連携しつつ、制度の隙間を埋めてホームレス状態からでも選べる選択肢を増やしていくためサブリースで22室を確保し、総合的居住支援を継続しています。

③ NHK 歳末たすけあい

2021年～22年の越冬の取り組みに、特別配布を受け、非常食・衣類・履物等を購入し、三角

公園周辺での炊き出しや緊急宿泊テントにて、配布を行いました。生活保護申請時の緊急支援にも活用しました。

(5) 休眠預金を活用した助成の運用

①信頼資本財団助成「脱・孤立のための助成プログラム」

2021年3月に若年のネットカフェ生活者や住居不安定者へのアウトリーチを目的として「ヨリドコオンライン」を開設後、継続してYoutubeを活用した動画配信やLINEを使った情報発信に取り組んでいます。Youtubeを2021年度末までに16本公開、西成やあいりん地域を怖い場所として煽る動画が多い中で、西成労働福祉センターでの求職活動・簡易宿所のガイド・生活保護制度に関する経験者の対談など、情報を必要とする方に役立ち、地域のイメージアップにつながる発信を行いました。LINEでの相談については、2021年7月2件、8月1件、2022年1月5件、2月6件と徐々に相談件数が増える傾向にあります。また「大阪いらっしやいキャンペーンでお得に長期宿泊」「西成のコインロッカーを紹介」「携帯がなくても連絡がとれる！意外と便利な『公衆電話』の探し方、使い方」等43本の記事を公開して、若年のネットカフェ生活者や住居不安定者が身近な感覚で活用できる情報の発信を行いました。

②ヒューファイナンス助成「萩之茶屋地域ひと・まち・いきいきリカバリー事業」

3つの活動によって、萩之茶屋における健康・安全の増進や交流づくりをめざす事業の2年目の展開を行いました。

- (A) 新しくなった市営萩之茶屋住宅の住民のつながり・交流づくりの支援。
- (B) 結核検診勧奨と仕事情報シェア機能等利用者にとっての利便性の向上をめざすあいりんシェルター入場システム（カードシステム）
- (C) 多様な生きづらさを抱えた当事者の自助グループ、居場所づくり支援。

2021年度は(A)の萩之茶屋第二住宅における100歳体操など交流づくりを始めることができました。2021年度は2回開催で結果は以下の通りです。

11月22日 出席：24名（住民8名 サポーター3名 西成区3名 社会福祉協議会4名 社会医療センター2名 ボランティア2名 NPO 釜ヶ崎スタッフ2名） 内容：百歳体操、血管年齢測定。

12月20日 出席：14名（住民4名 西成区1名 社会福祉協議会3名 社会医療センター3名）ボランティア2名 NPO 釜ヶ崎スタッフ1名） 内容：百歳体操、コミュニケーションプログラム。

(B)では、カードシステムを活用したあいりんシェルター利用者に向けた求人や講習の情報などの発信を開始することができました。

(6) 釜ヶ崎の夏祭り・越冬闘争に、資材準備・設営・経理等で参加しました。

釜ヶ崎の人々と共に、野宿を強いられない社会を求めて、地域の団体と協力して、夏祭り・越冬闘争に参加しました。

Ⅲ事業の実施状況

(1) 就労機会提供事業

① あいりん地域高齢労働者就労自立支援事業

大阪府から「あいりん地域高齢労働者就労自立支援事業」を受託しました。

そのうち「あいりん地域外清掃業務」では、府立施設・府立高校・道路・河川等で、除草・清掃・剪定等の作業を行いました。

「西成労働福祉センター周辺交通安全警備業務」では、あいりん労働福祉センターに出入りする求人車両の誘導ならびに清掃作業、旧あいりん総合センター敷地内の清掃作業を実施しました。

両業務を合わせて、28,549人を雇用しました。

【事業費総額299,528,000円。うち人件費236,017,278円、事務費36,282,000円、調整額-1,096円、消費税27,229,818円】

② あいりん日雇労働者等自立支援事業高齢日雇労働者社会的就労支援業務

大阪市からは「あいりん日雇労働者等自立支援事業」内「高齢日雇労働者社会的就労支援業務」を受託しました。

そのうち、「あいりん地域内及びその周辺の環境美化に関する作業」においては、あいりん地域内及びその周辺の道路清掃、側溝清掃、除草作業を実施しました。

「あいりん地域外の環境美化に関する作業」においては、市有地・道路・公園等での除草・剪定および清掃等、市立保育所でのペンキ塗り・剪定・修繕等の作業を実施しました。

また、コロナ対策として「あいりん地域外の環境美化に関する作業」行き帰りでの車両乗り込み人数を減少させる必要があるため、2020年度より引き続き特掃シェルター清掃を1日16名で実施しています。

全作業を併せて33,626人を雇用しました。

【事業費総額339,513,000円、うち人件費292,684,674円、事務費15,963,508円、消費税30,864,818円】

③ あいりん労働センター建物敷地内巡回業務

大阪労働局及び大阪府商工労働部より委託を受け、あいりん労働センターの維持管理のため建物敷地内巡回を実施しました。

【事業費総額3,014,297円。うち人件費2,107,900円、事務費632,370円 消費税274,027円】

④ メーデー会場清掃業務

連合大阪の協力によるメーデー会場の清掃業務は、2020年度に引き続き、コロナの影響によって集会が開催されないことになったため、中止となりました。

⑤ その他請負業務

民間企業等から幅広く除草・塗装・剪定等の作業を請負って実施し、釜ヶ崎の日雇労働者やホームレス生活者の就業機会の確保に努めました。



(2) 居場所提供事業

① あいりん日雇労働者等自立支援事業居場所支援

夜間シェルターの運営

大阪市から委託を受けて、あいりんシェルター管理運営業務を実施しました。開所日数は359日。のべ利用人数 61,844人。高齢者を中心としたコロナ感染予防対策として、簡易宿所を借上げてのべ8,535室をあいりんシェルターの拡張として使用しました。

昼の居場所棟の運営

大阪市から委託を受けて、あいりんシェルター内昼の居場所棟（禁酒の館）にて、居場所・洗濯機・シャワー等の提供を行いました。

【事業費総額141,937,056円。うち居場所支援事業費112,697,000円（人件費90,128,112円、物件費12,323,706円、消費税10,245,182円）、新型コロナウイルス対策29,240,056円（臨時人件費15,518,174円、あいりんシェルターの拡張6,961,500円、衛生物品の購入4,102,195円、消費税2,658,187円）】

② あいりん日雇労働者等自立支援事業越年時支援

2021年12月29日から翌1月3日早朝まで、あいりん地域に居住する単身日雇労働者であって、年末年始に仕事を得られないため自ら食及び住を求めがたい方150人に対し、あいりんシェルターにて宿泊場所を提供するとともに食品・日用品等を支給しました。

また、地域の日雇労働者、生活困窮者からスタッフを採用し、就労機会を作りました。

12月30日以後に生活困窮状態で相談に来られて結核検診を受けていない方について、簡易宿所を活用して支援を行いました。

【事業費総額12,119,000円、うち人件費5,856,299円、その他経費6,262,701円、第2種社会福祉事業の扱いで消費税は免除】

(3) 相談・サポート事業

① 就業支援事業

大阪ホームレス就業支援センター運営協議会から委託を受けて、就労自立を目指す人への就職相談・就職支援事業を実施し、求人情報の提供・求人企業への紹介、面接の受け方および履歴書作成の指導をしました。履歴書用の写真撮影・提供、携帯電話・自転車・スーツ等の貸し出しを行いました。南事務所にパソコンを設置して、ハローワークインターネットサービスの求人検索用に提供しました。2020年度新規登録人数は138人、相談実人数は274人、相談件数は921件、常用就職実績27人、臨時就職延人数は、1,887人となりました。

また、就業支援員8人を大阪府・大阪府が実施する特別清掃における現場監督・指導を行うために配置し、作業指導とともに日常の相談を実施し、就職相談・訓練事業等への中継を行いました。

【事業費総額47,321,105円、うち人件費40,767,187円、事務費2,252,000円、消費税4,301,918円。】

② 就業開拓推進事業

大阪ホームレス就業支援センター運営協議会から委託を受けて、支援対象者に応じた個別の求人開拓、地域への貢献活動となる仕事の開拓、企業向けの広報宣伝活動を行いました。事業所等接触件数433件、常用の求人件数12件・実人員数57人、臨時・軽易の求人件数109件・実人員数663人でした。

【事業費総額4,329,407円。うち人件費3,565,025円、事務費370,800円、消費税393,582円。】

③ あいりん地域不安定労働者就労支援事業

民間企業への就職に伴って4ヶ月間の助成金が企業に支払われる仕組みを活用しつつ、自立支援センター入所者やあいりん地域の55歳以下の不安定労働者等を対象に相談・就業支援を実施しました。協力事業所登録状況13社、支援実施状況19名でした。

また、土日祝のあいりん労働公共職業安定所の待合室で、「いきいき清掃講座」を開催すると共に旧あいりん総合センターの閉所に伴って待機や手洗い等に使用できる施設の不足に対応して、待合室の一般開放を行いました。また就労支援の一環としてのべ455人の就労機会を作りました。

いきいき清掃講習の実績は次のとおりです。

【基礎コース】

第9期：5/9 5/22 6/6 6名参加

第10期：7/11 8/8 9/12 1名参加 1名就労

第11期：11/14 11/28 12/12 8名参加

第12期：2/13 2/27 3/6 5名参加

【応用コース】

第4回：7/25 8/22 3名参加 1名就労



【事業費総額16,538,500円、うち人件費13,827,000円、事務費1,208,000円、消費税1,503,500円。】

④ あいりん日雇労働者等自立支援事業相談支援

大阪市から「あいりん日雇労働者等自立支援事業」内「相談支援」を受託、実施しました。あいりん地域の日雇労働者等に対し、特別清掃やあいりんシェルターと連携しつつ、健康相談や生活相談等を行い、就労自立、野宿からの脱出を助ける支援を行いました。就業支援員等から現場作業のようすを報告してもらいながら、体調が思わしくない／高齢などの方を相談し、寄り添い型の支援を行いました。

また、歯科相談会・健康相談会を医師・看護師・保健師との協働で開催しました。

実人数2,062人、のべ9,362人の相談を行いました。相談のべ人数の内訳は、就労相談190人、生活保護相談1,170人、健康・保健支援1,132人、その他相談・各種支援6,870人、歯科相談会39人、健康・生活相談会215人。

【事業費総額32,037,991円。うち人件費27,025,740円、その他経費2,099,706円、消費税2,912,545円】

⑤ 西成区と協働した結核検診

特掃登録者を対象とした結核検診を、8月開始と1月開始との2回にわたり実施しました。新型コロナウイルス感染防止のため、CR車を使った一斉検診を行わず、特掃登録の番号帯ごとに分散して、西成区役所保健福祉センター分館にて検診を受ける形になりました。

⑥ 大阪府済生会と協働した健康診断

新型コロナ・ウイルスの感染拡大により、医療従事者からの感染を防止する観点から2020年度に引き続き、大阪府済生会と協働した健康診断は中止となりました。

(4) 社会的雇用創出事業

① 自転車リサイクルシステムの構築

阿倍野区文の里商店街にあるチャリティ自転車ポタリンを運営しました。事業としては赤字であり、赤字の解消や新しい取り組みに向けて経営の会議を月1回開催しています。

② 公園管理就労体験事業

住之江公園においては大代興業株式会社と、住吉公園においては株式会社美交工業と、都市公園管理共同体を構成し、指定管理者として運営の一端を担いました。当機構から両公園で58人に対して、1,248人日の職場体験講習を活用した就労体験の機会を提供することができました。

③ 公園管理経験者訓練事業

住之江公園において灌水、除草、樹木剪定、植栽などの作業に、園芸講習の経験者等よりのべ257人が従事しました。

④ 内職作業提供事業

民間企業からの受注により、就労の前段階に生活リズムを整えるなど準備期間が必要な方、疾病や障がい等のために、すぐには就労に結びつきにくい方に対して、内職作業を提供しました。就労意欲の助長と収入の増進のために、特掃登録者に作業を提供しました。のべ1,748人が作業に従事しました。



(5) 地域活性化事業

① 西成区単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業（ひと花プロジェクト）

大阪市西成区より受託し、単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくりと地域貢献による西成区のイメージアップに取り組みました。新型コロナウイルスの影響により、一部プログラムを実施できず、屋外作業等を中心に活動しました。そのかわりに金銭預り・服薬の見守りを強化、高齢化に対応した様々な生活支援を充実させています。ひと花プロジェクト連合体（まちづくり今宮、山王訪問看護、こえとことばとこころの部屋、釜ヶ崎支援機構）で事業運営を行いました。

【事業費総額9,626,996円、内消費税875,181円】



③ 西成版サービスハブ構築・運営事業（どーん！と西成）

2019年度より始まった大阪市西成区の委託事業です。西成区で生活保護を受給している15～64歳を対象とし、生活支援や就労支援、社会的つながり作り(地域の団体でのボランティア活動などに参加)を実施しています。2021年度90名が利用しました。平均年齢は45歳で若年層の方も多数利用しています。病気が原因で生活困窮状態になった方、派遣などで働いていたが仕事がなくなり生活困窮状態になった方など様々な背景の方が利用されています。支援の結果は下表のとおりです。

就労	ボランティア活動の繋ぎ	プログラム参加	身分証発行	携帯電話契約	受診同行	障がい者手帳取得支援	転居支援	他団体への繋ぎ
43件	28件	28人	9人	8人	57人	12人	4人	16人

ヨリドコ西成連合体（萩之茶屋地域周辺まちづくり合同会社、サポートィブハウス連絡協議会、こえとことばとこころの部屋、釜ヶ崎支援機構）で事業運営を行いました。

【事業費総額 25,046,265円 内消費税2,276,933円】



※以上事業費は当初見込みで記入しています。

(6) その他の事業

① 「ビッグイシュー」販売支援事業

ビッグイシュー本社より遠い大阪南部での販売者の利便をはかるため、仕入れ中継点としての役割を果たすとともに、さまざまな相談に応じました。販売希望者を受け付け、ビッグイシューへの橋渡しを行いました。

② ネットワーク推進

西成区関連では「区政会議」「あいりん地域まちづくり会議」「包括支援センター運営協議会」に委員として参加しました。あいりん地域モデルケース検討会議に参加しました。

大阪市社会福祉協議会に評議員として参加しました。

西成区社会福祉協議会、今宮社会福祉協議会、NPO法人まちづくり今宮に理事として参加しました。

「ホームレス支援全国ネットワーク」に副理事長として参加しました。

「日本ソーシャルインクルージョン推進会議」「共生型経済推進フォーラム」「NPOまちづく

り今宮」に参加。「環境福祉学会」「ソーシャルファームジャパン」「大阪環境ネットワーク」に法人として参加しました。

ワーカーズコープとの提携関係を深め、月1回の定期協議を行い、情報の共有を進めました。

③ 炊き出しによる食事の支援

越冬闘争実行委員会、釜ヶ崎就労・生活保障制度実現をめざす連絡会（反失業連絡会）と協働し、炊き出しによる食事支援を行いました。

(7) 社員総会の開催状況

第22回社員総会

日時 2021年6月25日 午後5時～5時30分 場所 釜ヶ崎支援機構南分室2階
新型コロナウイルス感染拡大中であることに配慮し最小単位での開催とさせて頂き会員22名中21名（内委任状6名 書面表決書12名）が参加して第22回社員総会を開催しました。
事業報告・会計報告・事業計画・予算等を審議し、採択しました。

(8) 理事会の開催状況

理事会は1回開かれ、当法人の活動の大方針について論議し決定しました。

第33回理事会 日時 2021年6月25日 午後4時30分～5時 場所 釜ヶ崎支援機構南分室2階